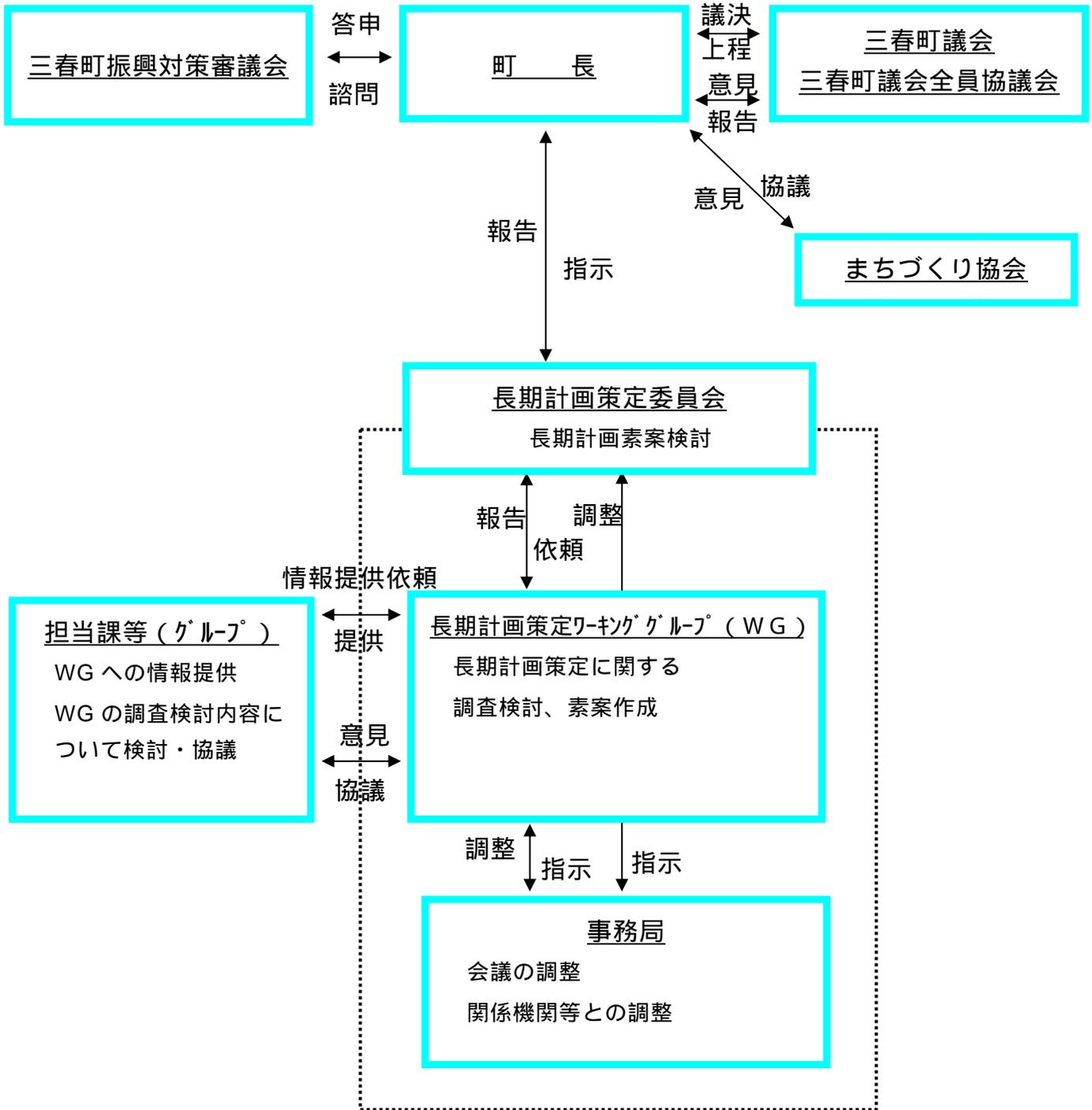


~ 資料編 ~

## 第 6 次三春町長期計画策定体制



第6次三春町長期計画策定委員会委員

	氏名	役職(所属は平成17年度)
委員長	橋本 健夫	助 役
副委員長	橋本 弘	教育長
委 員	遠藤 誠作	行財政改革室長
委 員	宗像 正英	住民税務課長
委 員	村上 正義	保健福祉課長
委 員	影山 常光	産業建設課長
委 員	織田 芳子	会計室長
委 員	松本 正幸	企業局長
委 員	湯峰 初夫	教育課長
委 員	原 毅	生涯学習課長
委 員	田中 金弥	議会事務局長

第6次三春町長期計画策定ワーキンググループ委員

アドバイザー	鈴木 浩	福島大学教授
--------	------	--------

	氏名	備 考(所属は平成17年度)
委員長	佐久間 保一	三春まちづくり協会推薦
副委員長	工藤 浩之	住民税務課
委 員	渡辺 盛雄	沢石まちづくり協会推薦
委 員	渡邊 善衛	要田まちづくり協会推薦
委 員	飯 利一	御木沢地区まちづくり協会推薦
委 員	橋本 善勝	岩江まちづくり協会推薦
委 員	千葉 初吉	中妻まちづくり協会推薦
委 員	村上 輝男	中郷まちづくり協会推薦
委 員	佐藤 恵美子	公募(三春)
委 員	小林 鶴夫	公募(岩江)
委 員	新野 徳秋	行財政改革室
委 員	志賀 清昭	総務課
委 員	佐久間 孝夫	保健福祉課
委 員	山口 元広	産業建設課
委 員	永山 晋	産業建設課
委 員	新野 恭朗	産業建設課
委 員	渡辺 正朝	産業建設課
委 員	増子 伸一	企業局
委 員	遠藤 晃	教育課
委 員	遠藤 弘子	生涯学習課
委 員	国分 美香子	議会事務局

事務局

	氏名	役 職
事務局長	橋本 国春	総務課長
事務局員	総務課企画情報グループ職員	

## 第6次三春町長期計画策定経過

### 1. 全体の経過

#### 平成17年

- 2月25日 庁内連絡会議へ資料提出：策定方針（案）について
- 3月18日 三春町議会全員協議会への報告：策定方針（案）について
- 5月18日 策定方針決定
- 5月20日 策定委員会設置
- 5月20日 三春町議会全員協議会への報告：策定方針等について
- 6月1日～ ワーキンググループ町民委員公募開始（公募による町民委員2名）
- 6月3日～ ワーキンググループ職員委員募集開始（職員委員12名）  
20日
- 6月10日 ワーキンググループ町民委員の推薦について各まちづくり協会に依頼（推薦による町民委員7名）
- 6月23日 三春町振興対策審議会への報告：策定方針等について
- 7月8日 第1回策定委員会開催
  - ・第5次三春町長期計画の検証等について
  - ・第6次三春町長期計画策定の進め方について
- 7月12日 第1回ワーキンググループ会議開催
- 7月15日 福島大学鈴木教授へアドバイザーを依頼
- 7月21日 三春町議会全員協議会への報告：策定委員会委員・ワーキンググループ委員、第5次三春町長期計画主要プロジェクトの検証、分野別計画等について
- 10月21日～
- 11月2日 まちづくり懇談会等で長期計画策定について説明
  - ・10月21日 要田まちづくり協会
  - ・10月22日 岩江まちづくり協会
  - ・10月23日 御木沢地区まちづくり協会
  - ・10月25日 中妻まちづくり協会
  - ・10月28日 中郷まちづくり協会
  - ・10月31日 沢石まちづくり協会
  - ・11月2日 三春まちづくり協会
- 11月7日 平成17年度定期監査において長期計画策定について説明
- 12月9日 第2回策定委員会開催
  - ・ワーキンググループ会議の開催状況について
  - ・ワーキンググループ会議での検討の内容の報告
  - ・基本計画検討のための資料作成について協議

## 平成18年

1月 5日～

11日 長期計画の基本計画策定に係る各課へのヒアリングを実施

1月19日 三春町議会全員協議会への報告：長期計画に関するまちづくり懇談会開催について

1月17日

～2月7日 長期計画に関するまちづくり懇談会を各地区で開催

- ・1月17日 中妻まちづくり協会
- ・1月22日 御木沢地区まちづくり協会
- ・1月28日 要田まちづくり協会
- ・1月29日 中郷まちづくり協会
- ・1月31日 沢石まちづくり協会
- ・2月 5日 岩江まちづくり協会
- ・2月 7日 三春まちづくり協会

1月24日 区長会研修で長期計画について説明

2月23日 三春町振興対策審議会への報告：第5次三春町長期計画主要プロジェクトの検証、第6次三春町長期計画の策定状況等について

3月20日 商工会との意見交換会の開催

3月24日 農業委員会との意見交換会の開催

三春町議会全員協議会への報告

4月 7日 消防団との意見交換会の開催

4月21日 三春町議会全員協議会との協議：第6次三春町長期計画（案）について

4月25日 教育委員会との意見交換会の開催

5月18日 三春町議会全員協議会との再協議

5月24日 第11回ワーキンググループ会議開催

5月26日 第3回策定委員会開催

5月26日 三春町振興対策審議会の開催（答申）

6月20日 三春町議会

「第6次三春町長期計画基本構想を定めることについて」の議決

## 2. ワーキンググループ会議での検討内容

### 第1回 ワーキンググループ会議

○日時：平成17年7月12日（火）午後1時30分～3時30分

(1) 委嘱状交付

(2) ワーキンググループ委員長、副委員長の選出について

委員長 佐久間保一（三春） 副委員長 工藤浩之（住民税務課）

(3) 第5次三春町長期計画の概要等について

事務局から「第5次三春町長期計画」及び「第5次三春町長期計画主要プロジェクト検証表」により、現在の長期計画及びその実績等について説明

- (4) 第6次三春町長期計画策定の進め方について  
事務局から「第6次三春町長期計画策定方針」及び「新長期計画策定の役割及びスケジュール(案)」により、計画の構成、目標達成年度及びスケジュール案について説明

#### 第2回 ワーキンググループ会議

○日時：平成17年8月2日(火)午後1時30分～3時30分

- (1) 第5次三春町長期計画の策定について  
第5次三春町長期計画の策定経緯について説明
- (2) 三春町の課題等について(グループ討議)  
3グループに分かれて、三春町の課題等について意見交換

#### 第3回 ワーキンググループ会議

○日時：平成17年8月23日(火)午後6時～8時

- (1) 前回会議の内容について  
事務局から前回のグループ討議の内容を報告
- (2) 三春町の財政状況と人口推移について  
事務局から人口推移について、行財政改革室から財政状況について説明し、それについて意見交換
- (3) 自主自立のまちづくりと行政運営について(グループ討議)  
3グループに分かれて意見交換

#### 第4回 ワーキンググループ会議

○日時：平成17年9月20日(火)午後3時～5時

- (1) 前回会議の内容について  
事務局から前回のグループ討議の内容を報告
- (2) 長期計画の構成について(グループ討議)  
基本理念、将来目標、計画の方向について3グループに分かれて意見交換

#### 第5回 ワーキンググループ会議

○日時：平成17年10月11日(火)午後3時～5時

- (1) 前回会議の内容について  
事務局から前回のグループ討議の内容を報告
- (2) 長期計画の基本理念、まちづくりの目標、想定している施策(キーワード)について(グループ討議)  
3グループに分かれて、基本理念、まちづくりの目標について意見交換

#### 第6回 ワーキンググループ会議

○日時：平成17年11月8日(火)午後3時～5時10分

- (1) 前回会議の内容について  
事務局から前回のグループ討議の内容を報告
- (2) 各まちづくり懇談会等での長期計画に関する意見・要望等の内容について  
事務局から資料に沿って説明し、それについて意見交換
- (3) まちづくりの目標の内容等について(グループ討議)  
3グループに分かれて、まちづくりの目標について意見交換

#### 第7回 ワーキンググループ会議

○日時：平成17年12月6日（火）午後1時45分～5時

- (1) 前回会議の内容について  
事務局から前回のグループ討議の内容を報告
- (2) 長期計画の基本構想について（全体）  
資料に沿って、長期計画の基本構想の内容について意見交換

#### 第8回 ワーキンググループ会議

○日時：平成17年12月27日（火）午後1時30分～4時

- (1) 長期計画について  
アドバイザー福島大学教鈴木浩教授の講演  
「参加と協働による地域再生をめざして」
- (2) 意見交換  
鈴木教授の講演内容を中心に意見交換
- (3) 長期計画基本構想について  
事務局から前回会議及び策定委員会の意見により修正した「長期計画イメージ」の主な修正箇所について説明

#### 第9回 ワーキンググループ会議

○日時：平成18年2月14日（火）午後1時30分～3時30分

- (1) 長期計画に関するまちづくり懇談会について  
事務局から「長期計画に関するまちづくり懇談会」における主な意見等について説明し、それについて意見交換
- (2) 基本計画について  
まちづくりの目標ごとの施策について  
第1章「だれもが暮らしやすいまちづくり」について意見交換

#### 第10回 ワーキンググループ会議

○日時：平成18年2月28日（火）午後1時30分～3時30分

- (1) 基本計画について  
まちづくりの目標ごとの施策について  
第2章の「夢をもち豊かな心が育つまちづくり」から第6章の「計画実現のために」について、それぞれの章ごとに意見交換

#### 第11回 ワーキンググループ会議

○日時：平成18年5月24日（水）午前10時～午前11時45分

- (1) 第6次三春町長期計画（案）について  
前回からの変更点及び経過について事務局より説明
- (2) アドバイザー福島大学鈴木浩教授の講話  
「長期計画の策定に当たって」
- (3) 意見交換  
鈴木教授の講話内容を中心に意見交換

財政計画試算(シミュレーション)

<歳入>

(単位:千円)

年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
町 税	1,676,670	1,657,251	1,613,615	1,702,605	1,689,778	1,603,942	1,566,854	1,575,580	1,546,267	1,561,419	1,566,965	1,547,828	1,559,839	1,565,450	1,546,386
譲与税・交付金等	481,838	395,896	424,680	494,406	510,713	568,812	506,678	505,369	504,058	502,705	500,692	498,677	495,492	494,625	492,605
地方交付税	2,627,619	2,534,726	2,308,998	2,118,009	2,253,595	2,051,000	2,138,804	2,049,487	1,965,477	1,914,824	1,796,418	1,746,118	1,739,134	1,702,612	1,663,452
分担金及び負担金	167,675	176,919	175,245	168,294	165,466	166,971	163,632	160,359	157,152	154,009	150,929	147,910	144,952	142,053	139,212
使用料及び手数料	220,278	231,289	233,193	226,947	242,773	247,295	242,349	237,502	232,752	228,097	223,535	219,064	214,683	210,389	206,182
国県支出金	737,133	639,087	577,885	654,257	470,514	411,893	362,693	360,706	356,265	356,542	355,054	354,840	354,420	354,480	355,081
繰入金	25,877	155,330	176,740	800,260	141,912	199,505	62,000	62,000	122,000	112,000	192,000	192,000	92,000	72,000	82,000
繰越金	148,796	149,561	119,971	106,986	144,621	101,202	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
その他の収入	194,510	224,858	146,642	234,044	240,809	156,282	104,143	121,561	132,736	139,772	136,521	138,378	133,522	138,678	129,544
町債	1,591,500	1,664,800	717,700	717,700	399,400	308,900	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
歳入合計	7,871,896	7,829,717	6,494,669	7,223,508	6,259,581	5,815,802	5,697,153	5,622,564	5,566,706	5,519,368	5,472,114	5,394,815	5,284,042	5,230,287	5,164,461

譲与税・交付金には地方譲与税利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金が含まれる。  
その他の収入には財産収入、寄附金、諸収入が含まれる。

<歳出>

(単位:千円)

年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
人件費	1,499,087	1,473,659	1,448,664	1,364,312	1,330,325	1,344,230	1,326,918	1,275,254	1,253,168	1,238,444	1,238,444	1,230,952	1,179,418	1,149,970	1,142,608
扶助費	290,570	298,288	366,824	394,619	399,949	438,135	446,898	455,836	464,953	474,252	483,737	493,412	503,280	513,346	523,613
公債費	1,814,945	1,277,196	1,400,397	1,431,180	1,278,014	1,220,507	1,208,627	1,196,124	1,181,810	1,169,134	1,132,225	1,073,232	1,023,258	1,004,928	955,640
物件費	933,276	946,172	954,799	882,000	884,185	910,024	873,623	838,678	805,131	772,926	742,009	712,329	683,836	656,483	630,224
維持補修費	100,379	79,187	68,900	78,964	62,650	61,927	63,166	64,429	65,718	67,032	68,373	69,740	71,135	72,558	74,009
補助費等	818,529	825,576	791,920	754,842	915,171	862,867	797,329	795,877	774,697	774,155	774,039	766,881	759,559	754,082	743,950
繰出金	350,889	380,333	372,852	419,565	495,382	462,473	471,722	481,156	490,779	500,595	510,607	520,819	531,235	541,860	552,697
積立金	5,934	12,636	3,630	3,982	7,473	6,020	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資・出資金・貸付金	101,311	171,976	217,401	150,662	193,042	179,124	158,870	165,210	180,450	172,830	172,680	177,450	182,320	187,060	191,720
投資的経費	1,708,297	2,125,783	659,392	1,452,332	486,004	280,495	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
歳出合計	7,623,217	7,590,806	6,284,779	6,932,458	6,052,195	5,765,802	5,647,153	5,572,564	5,516,706	5,469,368	5,422,114	5,344,815	5,234,041	5,180,287	5,114,461

年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
歳入	7,871,896	7,829,717	6,494,669	7,223,508	6,259,581	5,815,802	5,697,153	5,622,564	5,566,706	5,519,368	5,472,114	5,394,815	5,284,042	5,230,287	5,164,461
歳出	7,623,217	7,590,806	6,284,779	6,932,458	6,052,195	5,765,802	5,647,153	5,572,564	5,516,706	5,469,368	5,422,114	5,344,815	5,234,041	5,180,287	5,114,461
差額	248,679	238,911	209,890	291,050	207,386	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000

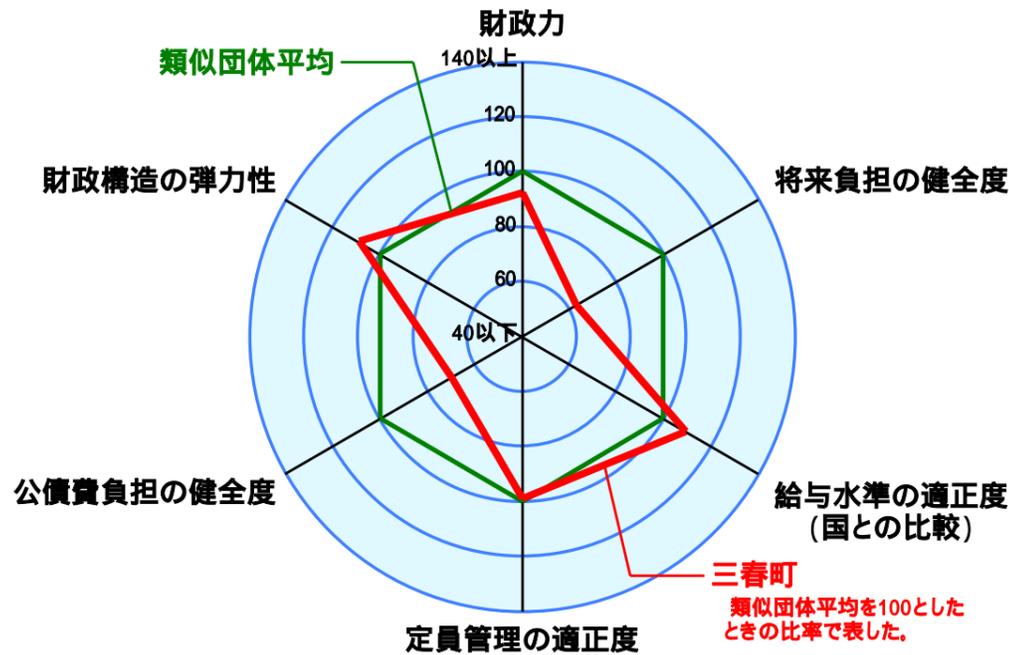
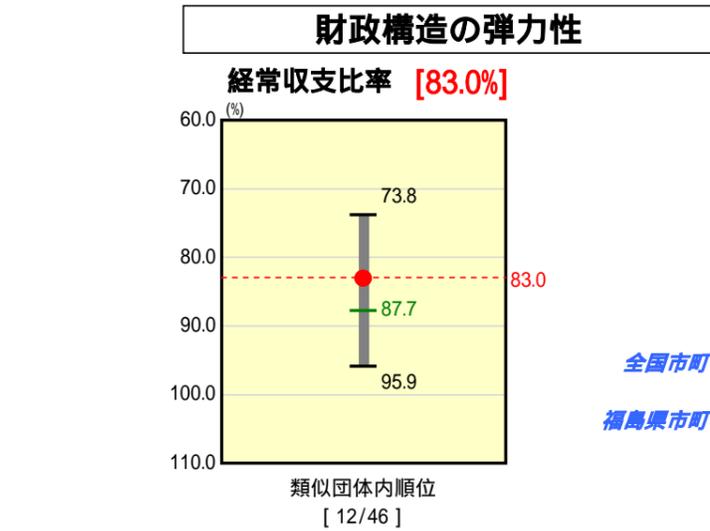
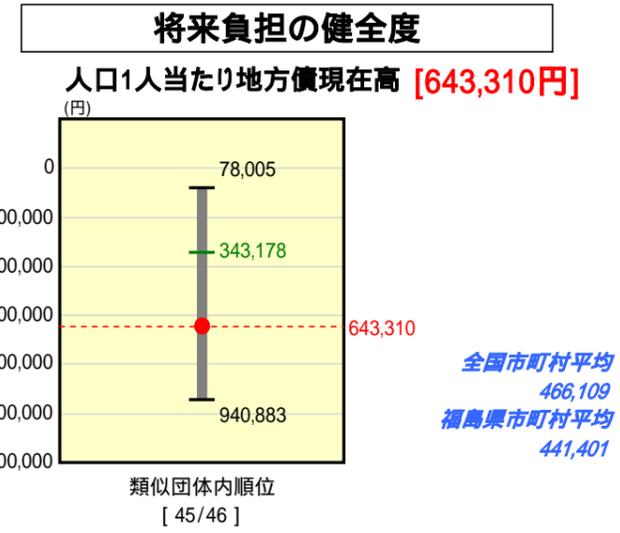
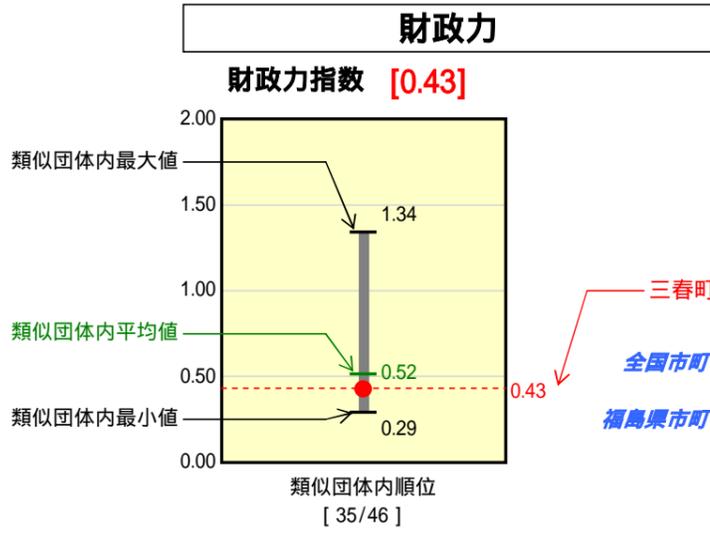
<町債残高>

年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
普通会計	12,831,767	13,575,571	13,222,785	12,823,091	12,225,801	11,605,464	11,142,381	10,680,130	10,222,356	9,768,094	9,341,524	8,966,983	8,636,488	8,318,291	8,044,540
企業会計(上水)	3,333,740	3,145,840	2,989,870	2,873,280	2,752,990	2,628,820	2,500,570	2,368,050	2,231,050	2,092,070	1,948,360	1,801,280	1,649,120	1,493,140	1,336,050
企業会計(下水)	4,016,350	3,891,717	3,744,549	3,605,550	3,442,090	3,270,060	3,105,540	2,946,930	2,782,010	2,644,740	2,505,570	2,362,840	2,216,520	2,066,500	1,912,720
合計	20,181,857	20,613,128	19,957,204	19,301,921	18,420,881	17,504,344	16,748,491	15,995,110	15,235,416	14,504,904	13,795,454	13,131,103	12,502,128	11,877,931	11,293,310

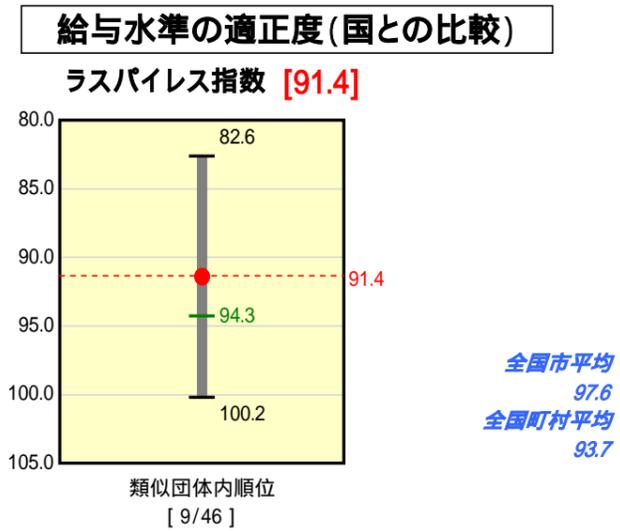
# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 福島県 三春町

人口	19,933人(H17.3.31現在)
面積	72.76 km <sup>2</sup>
歳入総額	7,223,511千円
歳出総額	6,932,458千円
実質収支	291,053千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



### 分析欄

**財政力指数** :ここ3年間で僅かに伸びを見せている。(H14 0.40、H15 0.42、H16 0.43) 町税は9年度に16億円台に到達して以来横這いを続けており、税徴収率も98～99%と高い値を維持していることから、今後も大きな伸びは期待できない。町有財産の売却処分や使用料・手数料の見直しを進め、新たな自主財源の確保に取り組む。

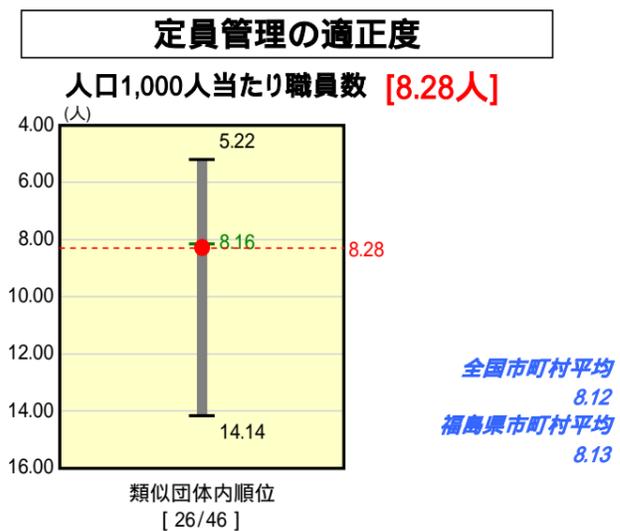
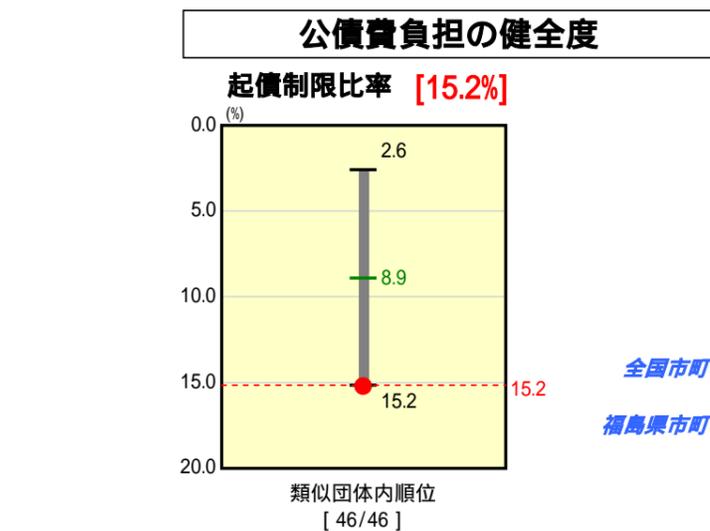
**経常収支比率** :類似団体内平均、県内市町村平均をいずれも下回っている。特に、人件費は後述のラスパイレス指数の分析にもあるように、10年度からの行財政改革のさまざまな取り組みの結果減少している。(H15 1,448,664千円、H16 1,364,312千円)しかしながら、公債費や物件費の比率は依然高いことから、三春町集中改革プランに基づく取り組みを通して今後とも義務的経費の削減に努める。

**起債制限比率** :4年度から14年度にかけて学校建設、道路・農村整備、公共施設建設、中心市街地活性化事業などの公共投資を集中的に行った結果、起債制限比率は6年度から徐々に上昇し、現在、類似団体の中で最下位15.2%となっている。このため、15年度から新規地方債の発行を抑制してきた結果、比率の上昇は緩やかになり、20年度にピークを迎えたあと低下に転じる見込みである。今後も引き続き新規地方債発行の抑制に努めてゆく。

**人口1人あたりの地方債現在高** :類似団体平均を大きく上回っている。また、県内の町村の中では最も地方債現在高が大きい。前述のとおり4年度から14年度の集中的な公共投資の結果、地方債現在高が急増したが、15年度から新規地方債の発行を抑制し、16年度策定の三春町財政構造改革プログラムにより経常経費削減と繰上償還による地方債残高の圧縮に取り組んでいる。(H16～H18の3年間で約4億3,800万円の経常経費削減)

**ラスパイレス指数** :退職時昇給の廃止、55歳昇給停止の導入、特殊勤務手当の全廃、寒冷地手当の支給停止、特別職の報酬10%カットなどをすでに実施し、ラスパイレス指数は91.4と類似団体平均、全国町村平均を下回っている。さらに17年度からは一般職の本俸4～5%カットも実施し、財政状況を踏まえた適正な水準の維持に努める。

**人口1,000人当り職員数** :10年末に196人であった職員数は事務事業の見直し、組織機構の簡素・合理化、民間委託、IT化等の推進により15年度末では165人となり5年間で31人(15.8%)を削減した。指数は類似団体内平均値、全国、県内平均とほぼ同じ水準となっている。さらに、16年度に策定した三春町第2次行財政改革大綱及び三春町集中改革プランに基づき今後10年間の削減目標を30人(16.7%)とする定員管理に取組む。



三春町の分野別計画等

No	計画の名称	策定者	策定年度	計画期間(目標年度)	担当課等	概略
1	三春町財政健全化計画(平成16年度)	三春町	平成9年度 16年度ローリング		行財政改革室	ここ十数年にわたり多様化する行政需要に的確に対応するため、長期的な観点から地方債を発行し、さまざまな事業を実施してきた。一般財源に占める公債費は年々増加し、財政悪化の大きな要因となっている。このため、税金や使用料の収入確保などの歳入の増加と経常経費の削減など歳出の抑制を図ることを目的として策定。
2	三春町財政構造改革プログラム	三春町	平成16年12月	平成16年度 ～平成18年度	行財政改革室	厳しい財政状況が続く中、自主自立のまちづくりを行うべく、将来の財政運営に資するため、歳出規模を縮小し財政運営の構造改革を進め、経費の削減により捻出した財源により町債の繰上償還を行うことを目的として、財政構造改革を行う。
3	三春町公共下水道基本計画	三春町	平成4年3月	～平成24年度	企業局	平成24年度を目標年度とし、計画区域面積は、三春市街地、八島台、桜ヶ丘、駅周辺の295ha。また計画処理人口は、13,100人。下水の排除方式は、雨水を入れない分流式。
4	三春町水道事業第4次拡張計画	三春町	許可年月日 平成10年3月	平成10年 ～平成18年	企業局	平成18年度を目標年次として、主な事業は滝地区拡張事業。計画給水区域39.21㎡、計画給水人口18,770人、計画1人1日最大給水量599L、計画1日最大給水量11,240㎡。
5	北部地域整備計画	北部地域まちづくり 協会連絡協議会	平成9年3月	平成9年度～ (概ね10年)	産業建設課	沢石、御木沢及び要田地区の北部地域を生活しやすい地域とするため、21世紀に向けて地域づくりの目標を明確にするとともに、地区民の生活の向上、新しい田園生活の創造のために策定。
6	三春町都市計画マスタープラン	三春町	平成17年3月	平成17年度～ (概ね20年)	産業建設課	三春町の自然・歴史・文化を生かすことを基本的な考え方とし、「豊かな自然環境と歴史に抱かれ、すべての世代の人々がいきいきと暮らし、文化が香り、夢をつないでいくまち」を将来目標としている。
7	三春町市街地整備基本計画	三春町	平成元年3月	平成元年度 ～平成22年	産業建設課	三春ダムや磐越自動車道整備事業等の大規模プロジェクトが着々と進行し、広域的機能分担の位置づけが一変しようとしている状況に的確に対応し、三春らしい都市的魅力と都市機能を十分に発揮するため、策定した計画である。市街地整備基本計画では、都市像として3つの目標と5つの主要テーマのもと、市街地整備のポイントを設定している。
8	三春町中心市街地活性化基本計画	三春町	平成11年3月	平成11年度～	産業建設課	これまで進めてきた中心市街地への様々な取り組みを活かしながら、さらに時代の変化に対応し、これからの中心市街地での“ハードとソフトの連携したまちづくり”に向けた集中的な取り組みを支える新たな計画として策定。
9	三春町公共賃貸住宅総合再生計画	三春町	平成8年3月	～平成27年度	産業建設課	三春町に在する町営住宅等の今後の管理・活用方針及び計画を定めるとともに、建替対象団地については、建替基本計画を定めたものである。この中では町営住宅7団地が建替え対象となっている。
10	三春町住宅マスタープラン	三春町	平成12年3月		産業建設課	地域住宅計画、三春町市街地整備基本計画、うるおい・緑・景観まちづくり整備計画などさまざまな住宅施策を展開してきた。この間、高齢化社会など社会状況の変化や住宅施策体系も大きく変化してきた。このような変化を捉えながら、今後の住宅施策の基本方針、地域特性及び住居者特性に応じた具体的な施策展開の方針等について調査、検討を行い、プランとしてまとめた。
11	三春農業振興地域整備計画(土地利用再編型計画)	三春町	平成8年8月		産業建設課	今後も農業が本町の基幹産業として発展していくために必要な施策の展開と農村地域における生活環境の改善を計画的に推進するとともに、農業・農村がもつ他面的な機能を活かした地域活性化のための条件整備について地形的特性や地域住民の意向などを考慮しながら総合的に実施し、活力ある農業・農村の創造を努めることを振興の方向とする。
12	三春町農業振興方針	三春町	平成10年10月		産業建設課	地域農業の基幹作物は、市場原理の導入など政策の変革により斜陽化するとともに、多くの農家が兼業化へと移行している。一方では、プロ意識をもった農業経営者の台頭、恵まれた地利的条件等を活かしたバリエーション豊かな農業の展開が可能である。農業・農村における振興方針を示し、豊かで魅力ある農村、元気のある農業の展開を目指す。
13	三春町森林整備計画	三春町	平成17年4月	平成17年度 ～平成26年度	産業建設課	森林の有する多面的機能の高度発揮を図る観点から、重視すべき機能に応じた森林施策の実施により、立地条件に応じた多様な森林資源の整備を図るとともに、効率的な森林施行や森林の適正な管理経営に欠くことのできない施設の整備等を計画的に推進する。
14	三春町地域水田農業ビジョン	三春町地域水田農業 推進協議会	平成16年4月	平成17年度 ～平成22年度 (中期目標19年度)	産業建設課	農業を地域において持続するため、市場原理に左右されない、食の安全・安心・美味しいを基本とした、「地産地消」を推進し、地域の活性化が図れるよう努力する必要がある。地域での水田農業のあるべき将来像を示した三春地域水田農業ビジョンを策定。
15	三春町田園環境整備マスタープラン	三春町	平成15年3月		産業建設課	第5次長期計画との整合性を図り、農業・農村の有する多面的な機能が十分に発揮される新しい時代の田園空間の創出を環境保全を目標とし、基本方針、4つのゾーンを設定。
16	三春町酪農・肉用牛生産近代化計画	三春町	平成9年1月	平成8年度 ～平成17年度	産業建設課	平成3年からの牛肉自由化など酪農・肉用牛生産をめぐる情勢の変化に対応するため、生産コストを低減して経営体質の強化・清算性の向上に努め、生乳・牛肉の高品質化を推進して酪農・肉用牛生産の安定的経営及び健全な発展を図るために策定。
17	高齢者いきいきプランⅢ ・第3次三春町高齢者保健福祉計画 ・第3期三春町介護保険事業計画	三春町	平成18年3月	平成18年度 ～平成20年度 (介護保険事業計画 は、3年ごとに見直し)	保健福祉課	国において平成9年12月に制定された介護保険法及び平成18年4月施行の制度改正をもとに、三春町障害者福祉計画及び三春町保健計画との整合性を図りながら策定。
18	健康みはる21 「健康日本21」三春町計画	三春町	平成16年3月	平成16年度 ～平成22年度	保健福祉課	一次予防を重視する「21世紀における国民健康づくり運動」が平成12年からスタートした。町民ひとり一人が実践する健康づくり運動を基本に、家庭、学校、職域、地域などが一体となって町民参加の健康づくり運動を展開するため策定。
19	三春町地域福祉計画	三春町	平成17年度策定	平成18年度 ～平成22年度	保健福祉課	地域福祉推進の主体である町民等の参加を得て地域の要支援者の生活課題とそれに対応する必要なサービスの内容や量、その現状を明らかにし、かつ、確保し提供する体制を計画的に整備することを内容とする。
20	三春町障害者福祉計画	三春町	平成18年度策定 予定		保健福祉課	障害者のための施策を総合的、かつ、計画的に推進するための「障害者基本法」が施行されたことを受け、様々な課題に対応するため障害者福祉計画を策定。
21	三春町一般廃棄物処理基本計画書	三春町	平成5年11月	平成6年度 ～平成20年度	住民税務課	住宅団地、工業団地の建設や、生活様式の多様化に伴うごみ質の悪化とごみ量が増加していることなど、環境変化が著しく進んでいる。一般廃棄物を適正に処理することによって地域住民の利便で快適な環境の向上を図るため、生活廃水も含めて一般廃棄物処理基本計画を策定。
22	一般廃棄物(ごみ)処理基本計画	田村地方ごみ処理広 域化推進協議会	平成12年8月	平成13年度 ～30年度(18年間)	住民税務課	平成11年に策定された福島県ごみ処理広域化計画を踏まえ、田村市・三春町・小野町の一般廃棄物の処理状況や地域特性を把握するとともに、将来のごみ発生状況の予測と収集・処理方式を検討し、ごみの排出抑制・再資源化・減量化を図るために策定。
23	三春町地域新エネルギービジョン	三春町	平成12年3月	平成12年度 ～平成22年	住民税務課	太陽エネルギーなど自然からの贈り物や地域で生産・廃棄される資源による新エネルギーは環境負荷の小さいエネルギー資源として位置づけられている。町内における「太陽光」「風力」など地域資源の有効活用性について検討し、新エネルギー導入を推進するために策定。
24	三春町地域防災計画	三春町防災会議	平成13年3月	平成13年度～	総務課	災害対策基本法第42条の規定に基づき、三春町及び防災関係機関が処理しなければならない事務又は業務について総合的な運営を計画したもの。
25	E-三春づくり情報化プラン	三春町	平成16年6月	平成16年度～	総務課	ITを手段として積極的に活用し、行政事務の効率化や行政手続の簡素化をはじめとし、住民との情報共有化などを実現し、住民との協働によるまちづくりの実現をねらいとして、町の情報化を推進するため策定。
26	三春町次世代育成支援行動計画	三春町	平成17年3月	平成17年度 ～平成26年度	教育課	平成15年に「次世代育成支援対策推進法」が制定され、次世代育成支援行動計画の策定が地方公共団体に義務づけられた。行政施策を“子育て・子育て環境”の側面から見直し、今後の子育て支援の方向性・目標を定めたもの。

**第5次三春町長期計画**  
 (ほんとうに豊かな暮らしを求めて)  
 基本理念：生活提案型のまちづくり

国・地方を通じた  
 厳しい財政状況  
 地方分権  
 少子高齢化  
 人口減少

**第6次三春町長期計画**  
 基本理念 (安全安心なまち  
 自主自立のまち  
 継続発展するまち)

**1. 市街地における生活提案**

三春町市街地整備基本計画  
 うるおい・緑・景観まちづくり整備計画  
 荒町・新町線街路事業  
 快適照明まちづくり計画  
 街なみ環境整備事業(裏道整備)  
 公共施設集積整備計画  
 桜川改修事業  
 商業集積整備事業  
 公営住宅整備事業  
 自然と共生する住宅地づくり(仁井町開発)  
 地域住宅計画(HOPE計画)  
 西部地区整備構想(岩江地区)

実績

○交流館完成(H14)  
 ○交流情報ゾーンの整備(H15)  
 ○街路事業(荒町新町線)(H17)  
 ○大町地区街路照明設置(16基)  
 ○街なみ整備(磐州通り等)(H10)  
 ○文化伝承館開館(H10)  
 ○保健センター開館(H10)  
 ○みはる壱館建設(H13)  
 ○みはる北町館建設(H15)  
 ○桜川改修事業一部着手(H11~)  
 ○賃貸住宅かみやま団地完成(H9)  
 ○岩江地区福祉館の建設検討

**2. 新しい時代の田園生活の提案**

三春の里整備構想・さくら湖周辺地域計画  
 「地域に開かれたダム」事業  
 新しい農業の展開  
 三春の里農業公園・田園生活館 期計画  
 「紙漉の里」田園集落づくり  
 北部地域整備計画  
 滝桜周辺整備事業

実績

○さくら湖ポート場完成(H10)  
 ○自然観察ステーション開館(H12)  
 ○滝桜遊歩道、ポケットパーク整備(H12)  
 ○農産物品質保証制度(H12)  
 ○「紙漉の里」分譲(H9~)  
 ○ほ場整備富沢地区(H11~H18 予定)  
 ○農村総合整備事業三春北部地区(H11~H16)

**3. 次の世代のための生活提案**

夢の育つ学校づくり  
 教育研究会活動  
 幼・保一元化と学齢前教育・家庭教育の充実  
 児童館ネットワークと児童の地域生活の充実

実績

○岩江中学校校舎増築(H9) ○岩江小学校体育館改築(H10) ○三春中学校体育館改築(H16)  
 ○幼育センターの設置、○第2保育所新築(H12)  
 ○北保育所新築(H17)

**4. 高齢者・障害者が生きる喜びを失わないような生活提案**

福祉会館を拠点とした福祉活動  
 地区福祉館  
 高齢者住宅  
 退職者の社会参加と生活工芸センター  
 障害者の自立と社会参加

実績

○沢石地区福祉館開設(H9)  
 ○白山福祉館開設(H11)  
 ○生活工芸館完成(H10)  
 ○障害者小規模作業所「桜工房」開設(H13)  
 ○重度障害者小規模作業所「いちご」開設(H14)

**5. 参加する喜びのある地域生活の提案**

三春町まちづくり協議会及びまちづくり協会の自治活動  
 福祉会館及び中央児童館を拠点としたボランティア活動  
 「美しいまちをつくる三春町景観条例」に基づく景観形成  
 町民参加による生活環境づくり  
 都市との交流・国際交流  
 生涯学習拠点づくり(町民センター)

実績

○まちづくり活動への支援  
 ○ボランティア活動専門員の配置  
 ○資源ごみ収集  
 ○一関市との交流、春サミット参加  
 ○ライスレイク市、ザンバーク市との交流  
 ○交流館開館(H15)

**6. 便利で健やかな生活(生活並びに産業基盤づくり)**

周辺の見通(国県等の事業)  
 道路網のネットワークづくり  
 田村西部工業団地・企業誘致  
 上水道供給計画  
 保健・医療の充実(保健センター)  
 生活環境施設の整備  
 生活廃水対策事業  
 地域情報化のための基盤整備

実績

○国道288号三春西バイパス建設工事一部着手(H9~)  
 ○田村西部工業団地への企業立地(H10~)  
 ○上水道拡張事業(H10~)  
 ○一般廃棄物最終処分場の建設(H9)  
 ○西部環境センター建設工事(H16~H18)  
 ○農業集落排水事業共用開始(過足H9~、中妻H10~)  
 ○公共下水道共用開始(H12)  
 ○公共施設間の光ファイバー敷設(H13~H15)

**1. だれもが暮らしやすいまちづくり**

防災・災害対策  
 交通安全・防犯対策  
 上下水道の整備  
 道路・交通網の整備  
 情報通信基盤の整備  
 住環境の整備  
 田園生活空間の提供  
 魅力ある市街地の形成

**2. 夢をもち豊かな心が育つまちづくり**

子育て支援  
 幼児教育の充実  
 学校教育の充実  
 校外学習の充実  
 青少年の健全育成  
 文化・生涯学習・交流の推進  
 スポーツの振興  
 男女共同参画の推進

**3. 元気で健やかに暮らせるまちづくり**

健康づくりの推進  
 地域医療の充実  
 地域福祉・社会福祉の充実  
 高齢者福祉の充実  
 障がい者福祉の充実

**4. みんなで築くつながりのあるまちづくり**

協働によるまちづくり  
 ボランティア活動への支援  
 情報の共有化  
 広域行政の推進

**5. 地域の特性と資源を活かした活力あるまちづくり**

農林業の振興  
 工業の振興  
 商業の振興  
 観光の振興  
 環境・リサイクルへの配慮  
 歴史・文化の継承  
 良好な景観の形成  
 土地利用の検討

第5次三春町長期計画主要プロジェクト検証表(平成8年度～平成17年度)

楽しいまち 市街地における生活提案プロジェクト										
プロジェクト番号	プロジェクト名	担当課等	計画地域	計画期間(年度)	総事業費(概算)(百万円)	全 体 概 要	平成17年度末までの実績	今後の検討課題及び取り組むべき内容		
1	-	1	三春町市街地整備基本計画	産業建設課	概ね用途地域指定区域約340ha	期=H1～H7 期=H8～H12 期=H13～H22	地区整備=10,233 道路整備=6,469 公園整備=644.4	活力ある中心市街地の形成 歴史公園都市の建設 都市基盤の充実した市街地形成	交流情報ゾーン(H15年度完了) 町民センター(H14年度完了) 田村西部中核工業団地(H7年度完了) 街なみ整備A地区(H10年度完了) 国道288号バイパス(継続) 荒町新町線 期( 期=H9年度完了、 期=H17年度完了) 都市計画公園(H17年度末整備率=95.9%) 地区施設公園(H16年度末まで7カ所整備済み)	商業ゾーン整備 (仮)三春駅中町線計画変更 (仮)大町一本松線計画変更 北町荒町線整備 桜川改修事業 桜川改修関連事業(親水公園等整備)
1	-	2	うるおい・緑・景観まちづくり整備計画	産業建設課	中心市街地	H1～H22		拠点整備事業(大町地区土地区画整理事業、商業核約1.5ha整備) 街路事業(賑わいを創出する商業空間、イベントに対応) 河川事業(治水安全を高める計画的改修、自然的環境要素や親水空間への配慮) 中心市街地交流・情報核整備事業(町民センター建設、交流広場整備、駐車場整備)	拠点整備事業(町民センター建設工事完了、大町地区土地区画整理事業換地済) 街路事業(整備済 L=408.0m、事業費 2,517百万円)  河川事業(桜川河川改修一部用地買収着手・一部工事着手)  中心市街地交流・情報核整備事業(町民センター本体建設完了、交流広場整備、駐車場整備)	同上
1	-	3	荒町新町線・大町亀井線街路事業	産業建設課		H1～H16 H1～H17	6508.3	第1期(荒町新町線) L=408m、W=16m 第2期(荒町新町線) L=267m、 (大町亀井線) L=107.5m	第1期 H9年度完了 第2期 H17年度完了 (荒町新町線) L=267m (大町亀井線) L=90m	桜川改修事業に合わせた街路整備の延伸
1	-	4	快適照明まちづくり計画	産業建設課 総務課	全町			地区別照明整備方針 中心市街地幹線道路沿線 歴史的な景観に配慮すべき地区 住宅地 郊外の田園空間	中心市街地幹線道路(荒町新町線外1線)沿線 ・H17年度末まで40基 防犯灯の設置(H8:64基、 H9:64基、H10:51基、H11:44基、H12:50基、 H13:55基、H14:52基、 H15:43基、H16:36基、H17:38基)	街路整備に併せて、関係機関と協議し、三春駒をイメージした街路灯デザインに統一 年次計画による防犯灯の設置
1	-	5	街なみ環境整備事業	産業建設課	裏道整備 大町地区 3.04ha	H1～H7	820.0	歴史と伝統を活かした街なみの整備	H10年度末事業完了 ・区域面積=2.52ha ・通路(磐州通り)延長=387.33m ・小公園=3カ所 564.61㎡ ・生活環境施設(文化伝承館) 母屋改修延面積 183.66㎡ 蔵2棟改修延面積 137.77㎡ ・街づくり協定締結=3地区 2.52ha	街づくり協定等の推進
1	-	6	公共施設集積整備計画	産業建設課				便利で快適なサービス機能の充実のため公共施設やサービス施設の集積と整備	・保健センター(H10) ・三春交流館まほら(H14)	

楽しいまち 市街地における生活提案プロジェクト									
プロジェクト番号	プロジェクト名	担当課等	計画地域	計画期間(年度)	総事業費(概算)(百万円)	全体概要	平成17年度末までの実績	今後の検討課題及び取り組むべき内容	
1 - 7	桜川改修事業	産業建設課	郡山市富久山町小泉地内～三春町字小滝地内	H11～H40	10,000.0	L=11.4km	一本松地区(八島川合流点～山崎橋)L=1.3km 用地買収着手・一部工事着手 中町・八幡町地区(山崎橋～不動橋)L=0.9km 詳細設計・丈量図作成完了 用地買収着手 大町・新町地区(不動橋～小滝地内)L=1.5km 詳細設計着手	浸水被害のない安全な地域づくりを推進するため、桜川改修事業の促進を町民とともに県に働きかける。 河川改修事業を契機として、街としての機能や土地利用の保全回復につとめる。 歴史的な景観と調和した自然豊かな水辺空間の創出を図るため、河川施設(橋梁・護岸・管理用通路・防護柵・照明等)の整備に当ってはデザインやグレードに留意する。 街なかの重要なオープンスペースとして桜川を親水性豊かな空間として整備するとともに、住民の交流・休憩空間として沿川にポケットパークを整備する。 下水道事業を推進し水質の改善に努める。	
1 - 8	商業集積整備事業	産業建設課				活力ある商店街づくり	・みはる壱番館建設(H13) ・みはる北町館建設(H15) ・商業核づくり推進の一環とする地産地消に向けた「なか市」開所	・商業核(中町地内)整備の再検討	
1 - 9	公営住宅整備事業	産業建設課				特定公共賃貸住宅を導入し、入居階層を幅広い層へ広げる。	・特定公共賃貸住宅かみやま団地建設完了(H9) ・沢石団地、馬場団地用途廃止 ・谷戸団地用途廃止	・三春町公共賃貸住宅総合再生計画(平成7年度策定)及び三春町住宅マスタープラン(平成11年度策定)に基づく適正管理(耐用年限超過団地の用途廃止及び建替) ・地域住宅交付金事業に係るストック総合改善事業を実施する。	
1 - 10	自然と共生する住宅づくり	企業局	仁井町			新たな市街地の受け皿としての新規住宅地開発。道路ネットワークの形成・JR新駅設置も視野に含む「自然と共生する住宅地」をめざす。	平成12年度より「凍結」としていたが、平成14年5月、県住宅供給公社から正式に撤退したい旨の通知があった。これを受け検討したが、町が単独で事業化することは難しく、計画を断念せざるを得ないと判断した。同月、地権者代表者会を開催し、その旨を報告。代表者会も解散した。		
1 - 11	地域住宅計画推進事業(HOPE計画)	産業建設課				店舗併用住宅群整備計画、コーポラティブ住宅建設推進事業、三春駅周辺整備計画、住宅施策に関する誘導方策、生活提案型住宅の設計、緑地整備計画、地域木造住宅の推進	・住宅建設コスト低減対策指針策定(H8) ・紙漣の里モデル住宅建設(H9) ・住宅マスタープランの策定(H11) ・三春町景観条例の運用 ・三春町建築賞運営(隔年実施)(H9,H11,H13,H15,H17)	・三春町住宅マスタープランの推進	
1 - 12	西部地区整備構想	産業建設課 保健福祉課	岩江地区			幹線道路網の整備、ゆとりある住宅地の創造、鉄道の利便性の向上、生活環境の整備、福祉の充実	-1 国道288号三春西バイパスの事業促進 -2 福島空港アクセス道路の建設要望 -1 優良住宅地造成の指導 -2 既存開発団地の公共施設管理方針検討 桜川改修事業の推進	-1 国道288号バイパスの事業の促進 -2 福島空港アクセス道路の建設要望 -1 優良住宅地造成の指導 -2 既存開発団地の公共施設管理方針検討 桜川改修事業の推進 医療・保健・福祉施設の充実と有効な活用及び町保健・福祉計画との連携	

豊かな田園 新しい時代の田園生活の提案プロジェクト									
プロジェクト番号	プロジェクト名	担当課等	計画地域	計画期間(年度)	総事業費(概算)(百万円)	全体概要	平成17年度末までの実績	今後の検討課題及び取り組むべき内容	
2	-	1	三春の里整備構想・さくら湖周辺地域計画	産業建設課			自然環境保全林づくり 自然観察園づくり 野外活動施設づくり 生活文化拠点づくり 滝桜歴史公園づくり 周辺ネットワークづくり 田園集落づくり	自然環境保全林づくり(向山森林公園、さくらの公園)整備 自然観察園づくり(石畑水生生物観察園、狐田親水公園)整備 野外活動施設づくり(さくら湖ポート場、滝の平野外劇場、自然観察ステーション、天文台、風力・太陽光発電施設)整備 生活文化拠点づくり(H14 田園生活館増築工事完了、平成9年度より進めてきた、さくら湖美術の森整備構想に伴う「美術館」建設については社会情勢の変化により断念) 滝桜歴史公園づくり(滝桜遊歩道、ポケットパーク)整備 周辺ネットワークづくり(ウォーキングトレイル及びサイクリングロード)一部完了 田園集落づくり(紙漣の里)分譲中 三春ダム水源地域ビジョン策定(H14~15)	向山森林公園、さくらの公園:公共用財産としての位置づけの明確化の検討 自然観察園:河川管理者との管理協定の検討 滝桜歴史公園:都市公園にする等公共用財産としての位置づけの明確化の検討 ウォーキングトレイル等ネットワーク:協働による管理方法の検討
2	-	1	「地域に開かれたダム」事業	産業建設課			ダム湖の環境保全・水質保全を重視した開発と地域環境の整備 貝山多目的運動広場 柴原多目的運動広場 狐田親水公園 石畑水生生物観察園 滝の平野外劇場	貝山多目的運動広場 柴原多目的運動広場 狐田親水公園 石畑水生生物観察園 河川管理者との管理協定の検討と協働による管理方法の検討	
2	-	2	新しい農業の展開	産業建設課			認定農業者制度の活用と農業の組織経営化の推進、施設園芸への経営形態の変化 ・県営総合農地整備事業(農業かんがい)完了 ・平成17年認定農業者数41体 ・地域環境保全型農業推進総合整備事業(堆肥センター建設事業)完成	・集落営農の推進及び担い手の育成・確保 ・地産地消による消費拡大 ・堆肥センターを中心とした保全型農業の確立	
2	-	3	三春の里農業公園・田園生活館期計画	産業建設課		358.0	多品種少量生産農業の研究と普及、田園景観の形成とモデルづくり、多品種少量生産の野菜調理法の研修と普及 ・田園生活館新館建築工事完了(H14.7.15) ・農産物品質保証制度 ・地域環境保全型農業推進総合整備事業(堆肥センター建設事業)管理運営	・堆肥センターの堆肥を使用した土づくりにより、農産物の生産性向上・品質向上・生産安定の効果を実証する。	
2	-	4	「紙漣の里」田園集落づくり	企業局	H4~H14	580.0	自然との共生の中でゆとりある田園生活を享受する田園集落の創造 ・用地買収・造成工事(H7~8) ・児童遊園地・緑化整備(H8) ・集会所建築(H9) ・モデル住宅建築(H9) 同展示(H9~12) 同売却(H12) ・全40区画中28区画分譲済み ・4区画定期借地契約済み ・残8区画。	・販売促進	
2	-	5	北部地域整備計画	産業建設課			豊かな田園づくり、田園生活の提案、洗練された農村景観の創造 農村休暇村構想=農村交流館の建設 ・ほ場整備 富沢地区(H11~H17)及び富沢第2地区(H13~H18)活性化施設用地富沢地区5.2ha ・農村総合整備事業三春北部地区(H11~H16)農道3路線・集落道2路線・ため池整備・防火水槽5基 ・富沢第2地区(富沢7組)換地処分・活性化施設用地5.5ha取得。	富沢地区(富沢6組)及び富沢第2地区(富沢7組)で取得した活性化施設用地の利活用計画。田村西部環境センターを拠点とした活性化施設の整備促進を図り、地域全体の活性化を目指す。	
2	-	6	滝桜周辺整備事業	産業建設課生涯学習課(歴史民俗資料館)			さくら湖周辺整備と連携した駐車場、公衆トイレなどの整備、樹木の保全、周辺環境の保全 滝桜歴史公園づくり(滝桜遊歩道、ポケットパーク整備) 周辺ネットワークづくり(一部整備済) 滝桜保存対策事業(内柵撤去・土壌改良・通気管設置等) 滝桜周辺環境整備工事(木製階段工事) 病害虫防除事業(継続)	滝桜歴史公園:都市公園にする等公共用財産としての位置づけの明確化の検討 ウォーキングトレイル等ネットワーク:協働による管理方法の検討 街中観光との連携の検討	

プロジェクト番号	プロジェクト名	担当課等	計画地域	計画期間(年度)	総事業費(概算)(百万円)	全体概要	平成17年度末までの実績	今後の検討課題及び取り組むべき内容	
3	-	1	夢の育つ学校づくり	教育課			<p>学校施設と環境の整備            広い活動スペースの確保            表現の場の確保            収納、管理の場の確保            学習の連続性に対応した空間づくり            屋外環境の活用            学習家具の活用</p>	<p>(学校施設整備状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H9 岩江中学校校舎増築工事 RC造 252 m<sup>2</sup> 工事費 69,092,100 円</li> <li>・H9～H10 岩江小学校体育館改築工事 RC造 1,221 m<sup>2</sup> 工事費 316,893,150 円</li> <li>・H10 沢石中学校プール改築工事 工事費 89,250,000 円</li> <li>・H16 三春中学校体育館改築工事 RC造 1,254 m<sup>2</sup> 工事費 271,190,850 円</li> </ul>	<p>これまで進めてきた学校づくりの考え方とその成果を、各学校の教育内容や子どもたちと関わりに活かす教育活動を実践している。今後の学校施設の整備にあたって、この考え方を踏襲していく。</p>
3	-	2	教育研究会活動	教育課			<p>個性化教育の研究・実践</p>	<p>発足以来、各学校から選出された18名の研究員により、「個に応じた学習指導」、「個性を伸ばす学習」などのテーマを設定して研究を進め、この成果を各学校の教育課程の編成や日々の取組みに取り入れている。</p>	<p>個性化教育の研究・実践のため今後も、テーマを設定して研究を進め、その成果を各学校の教育課程の編成や日々の取組みに取り入れていく。</p>
3	-	3	幼保一元化と学齢前教育、家庭教育の充実	教育課			<p>幼稚園・保育所の一元化            学齢前教育・家庭教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育グループを設置し、幼児教育施設の運営の一元化を行った。</li> <li>・第2保育所の移転改築(H12.3)。</li> <li>・北部に沢石児童館を統合する北保育所の建設実施(H.17)</li> </ul>	<p>乳幼児・障害児保育等を考慮した、特色ある保育所の運営の検討</p>
3	-	4	児童館ネットワークと児童の地域生活の充実	教育課			<p>児童生活センターの設置による留守家庭児童対策の充実            児童の地域生活に係るネットワークづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録児童 わんぱく64名 岩江30名</li> <li>・自由来館者受入事業1日平均30名</li> <li>・地域に拓く児童館活動(ボランティア活動、ミニシアター、おりがみクラブ、料理クラブ、理科クラブ)の実施</li> <li>・出前児童館の実施(沢石地区、中妻地区)、要請(山田地区こども育成会等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留守家庭児童対策の充実</li> <li>・児童の地域生活に係るネットワークづくりの充実</li> </ul>

ともに生きる社会 高齢者・障害者が生きる喜びを失わないような生活提案プロジェクト

プロジェクト番号	プロジェクト名	担当課等	計画地域	計画期間(年度)	総事業費(概算)(百万円)	全 体 概 要	平成17年度末までの実績	今後の検討課題及び取り組むべき内容
4 - 1	福社会館を拠点とした福祉活動	保健福祉課				高齢者在宅福祉の充実、自立生活支援、多様な在宅介護支援システムの確立	・H12.4.1 介護保険制度導入。 ・H11 訪問看護ステーション開設 ・H17.4 介護保険第3期計画策定	地域包括支援センターを拠点とした「元気高齢者」の支援と要介護者の重度化の抑制
4 - 2	地区福祉館の整備	保健福祉課				最寄り福祉・コミュニティ福祉の充実、福祉ネットワークの構築	・H9.沢石地区福祉館開設 ・H11.白山福祉館開設(高齢者自立生活支援施設) ・H14.三春西地区福祉施設整備計画策定	医療・保健・福祉施設の充実と有効な活用及び既存の医療・福祉施設機関との連携
4 - 3	高齢者住宅	保健福祉課				高齢者向け住宅改善に対する支援 高齢者向け民間賃貸借住宅に対する支援 高齢者公営住宅の建設	・H15.町福祉住宅改造事業補助金交付要綱改正 ・「これからの住まいの手引き(高齢化対応の住まいづくり)」の見直し	ユニバーサルデザインの採用とバリアフリー化の融合
4 - 4	退職者の社会参加と生活工芸センター	保健福祉課				高齢者工芸・園芸センターの設置 シルバー人材センター活動拠点の整備	生活工芸館開設(H10.4) 三春町シルバー人材センター移転開設(H10.4)。 H17年度当初会員数276名、H16年度受注件数882件、契約金額98,580千円。	・高齢者の知識、技術の活用推進と支援 ・三春町シルバー人材センターの活性化 ・事務手数料の見直しによる自主財源の確保 ・新規分野への事業拡大
4 - 5	障害者の自立と社会参加	保健福祉課				障害者福祉長期計画の策定 在宅福祉サービスの充実とディサービスの実施 生活安定のための施策の充実 小規模作業所、障害者関係団体の育成と活動の充実	・H11.7 三春町障害者福祉計画策定。 ・障害者小規模作業所「桜工房」開設(H13.4.1)。 ・重度障害者小規模作業所「いちご」開設(H14.4.1) ・精神保健福祉事務権限委譲(H14.4.1) ・田村地方精神障害者地域家族会設立(H14.2.27)支援 ・障害者支援費制度の実施(H15.4.1) ・知的障害者福祉事務委譲(H15.4.1) ・障害者小規模作業所みはる工房開設(H16.9.17)	・障害者自立支援法サービス提供体制の充実 ・小規模作業所のNPO法人化の支援 ・小規模作業所の活動支援

参加する喜び 参加する喜びのある地域生活の提案プロジェクト									
プロジェクト 番号	プロジェクト名	担当課等	計画地域	計画期間 (年度)	総事業費(概算) (百万円)	全 体 概 要	平成17年度末までの実績	今後の検討課題及び取り組むべき内容	
5	-	1	三春まちづくり協議会及びまちづくり協会の自治活動	総務課			まちづくり協会部会活動の強化	協会活動の促進を図るため、7協会に財政的支援と地区担当者を配置することによる人的支援を実施。	各まちづくり協会の自主自立による自治活動
5	-	2	福祉会館及び中央児童館を拠点としたボランティア活動	総務課 保健福祉課 教育課 生涯学習課			ボランティア活動の奨励とボランティア団体の組織化及び相互交流	・町福祉会館内にボランティア活動専門員の設置。 ・中央児童館にてボランティアの積極活用。 ・青少年育成事業に係る生涯学習ボランティア団体の組織づくり	・ボランティアの登録等 ・青少年育成事業に係る生涯学習ボランティア団体の活動支援
5	-	3	「美しいまちをつくる三春町景観条例」に基づく景観形成	産業建設課			町が景観整備等の基本指針をつくり、町民とともに、すぐれた景観整備と環境保全を推進する	街づくり協定の推進 優良景観形成住民協定(県条例)の推進 景観法制定に伴う三春町景観条例の全部改正 景観行政団体の施行	街づくり協定の推進 優良景観形成住民協定(県条例)の推進 改正三春町景観条例に基づく景観計画策定の推進
5	-	4	町民参加による生活環境づくり	住民税務課			環境にやさしいまちづくりの推進 資源ゴミ収集 過剰包装の自粛 再生品の利用 環境美化行動 情報の提供 支援施設整備(資源ゴミ取扱施設の設置)	資源ごみ収集(平成7年10月開始) 過剰包装の自粛(商工会女性部による県事業:うつくしまエコショップ登録及び4R運動推進) 再生品の利用(庁内使用文房具のエコマーク優先購買) 町内各種団体による清掃作業支援(回収資材提供と回収体制の強化) 説明会開催	循環型社会形成のための基本システム整備 廃棄物発生抑制の広報活動推進 資源物回収体制の改善・整備 再生品の利用推進 環境美化意識の向上 散乱ゴミの回収 不法投棄への厳格な対応

参加する喜び 参加する喜びのある地域生活の提案プロジェクト

プロジェクト番号	プロジェクト名	担当課等	計画地域	計画期間(年度)	総事業費(概算)(百万円)	全体概要	平成17年度末までの実績	今後の検討課題及び取り組むべき内容
5	都市との交流・国際交流	総務課 生涯学習課				<p>姉妹都市、春サミット参加町との交流推進</p> <p>都市交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一関市(姉妹都市)</li> <li>・福井県春江町、愛知県西春町、高知県春野町、静岡県春野町(春サミット)</li> </ul> <p>国際交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ合衆国ウィスコンシン州ライスレイク市(姉妹都市)</li> <li>・チェコ共和国ザンバーグ市(友好都市)</li> </ul>	<p>都市交流</p> <p>一関市の夏祭り及び商業祭へ毎年度参加。一関市の築城500年記念事業への参加など</p> <p>春サミット(平成5年3月から毎年度実施。H6,11,16は三春町開催)</p> <p>国際交流</p> <p>国際姉妹都市交流10周年記念事業 H9,16名受入</p> <p>三ヶ国交流事業(三春・ライスレイク・ジャンベルク)H9,8名受入</p> <p>親善訪問団及び農村女性団派遣事業 H8,18名 H10,9名 H12,12名派遣</p> <p>アメリカサマーキャンプ派遣事業 H9,19名 H11,10名 H13,9名派遣</p> <p>三春サマーキャンプ来町事業 H8,3名 H13,7名受入</p> <p>ライスレイク高校留学生派遣事業 H8~H17,17名派遣</p> <p>教職員海外視察研修事業 H10,6名派遣</p> <p>ライスレイク日本庭園建設事業及び維持管理事業 H10,3名 H12,2名派遣</p> <p>チェコ共和国ジャンベルクにおける日本週間事業 H11,30名派遣</p> <p>国際貿易シンポジウム参加並びに河川改修と街づくり調査 3名派遣</p> <p>未来博ワールドビレッジ出展 H13,10日間</p> <p>国際交流館ライスレイクの家運営事業 支援 通年</p> <p>ライスレイク日本庭園メンテナンス事業 H15,3名派遣</p> <p>ネイティブアメリカン舞踊継承者招聘事業 H16,6日間 16名受入</p> <p>ライスレイク市・ライスレイク国際交流協会から三春町築城500年記念に陶芸品贈呈 H16、ブルース・カウベンガ氏持参来町</p> <p>ライスレイク市国際交流協会長他2名三春町築城500年記念事業参加来町 H16</p> <p>ヨーロッパ・ピクニック15周年記念式典参加(ハンガリー) H16,10日間6名派遣</p>	<p>都市交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春サミットは終了。一関市との姉妹都市交流を継続。</li> </ul> <p>国際交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際姉妹都市ライスレイク市との交流の継続と国際交流事業の推進</li> <li>・三春町国際交流協会の組織改編</li> </ul>

参加する喜び 参加する喜びのある地域生活の提案プロジェクト

プロジェクト番号	プロジェクト名	担当課等	計画地域	計画期間(年度)	総事業費(概算)(百万円)	全体概要	平成17年度末までの実績	今後の検討課題及び取り組むべき内容
5 - 6	生涯学習拠点づくり	生涯学習課	町民センター	建設事業: H11~H14 開館:H15	3,487	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地活性化の拠点</li> <li>・人・物・情報の交流の場</li> <li>・町民の文化、学習、展示活動等の場</li> <li>施設名 三春交流館「まほら」</li> <li>工事概要</li> <li>・工事名称: 三春町民センター建設工事</li> <li>・建築主(発注者) 三春町</li> <li>・地名地番: 福島県田村郡三春町 字大町地内</li> <li>・主要用途: 劇場</li> <li>・敷地面積: 4,463.632 m<sup>2</sup></li> <li>・建築面積: 2,483.789 m<sup>2</sup></li> <li>・延べ床面積: 3,583.071 m<sup>2</sup></li> <li>・構造: 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造</li> <li>・基盤工法: 既製コンクリート杭</li> <li>・階数: 3階</li> <li>・床面積: 1階 2,417.958 m<sup>2</sup> 2階 962.441 m<sup>2</sup> 3階 202.672 m<sup>2</sup> 計 3,583.071 m<sup>2</sup></li> <li>設計主旨・施設の位置づけ 地域に密着した小規模ホールのプロトタイプとなる施設</li> <li>・文化活動の拠点づくり</li> <li>・町民が広く活用できる利便性</li> <li>・街並との調和</li> <li>主要諸室</li> <li>・大ホール 404席(可動208席 + 固定196席)</li> <li>・ホワイエ 展示空間として利用可</li> <li>・中会議室(中ホール) 椅子のみ 100人程度</li> <li>・小会議室 A・B・C・D (C・Dは1室利用可)</li> <li>・和室 21畳 + 12.5畳 (1室利用可)</li> </ul>	<p>事業経過</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9年度 基本設計業務委託事業</li> <li>・10年度 第1期埋蔵文化財発掘調査・地質調査</li> <li>・11年度 騒音調査</li> <li>・11~12年度 実施設計業務委託事業</li> <li>・12年度 第2期埋蔵文化財発掘調査</li> <li>・12~14年度 町民センター建設工事</li> <li>・13年度 駐車場整備事業(第2駐車場・南町)</li> <li>・14年度 舞台幕等設置工事</li> <li>・14年度 交流広場(付属駐車場含)建設工事</li> <li>・14年度 情報関連機器等設置工事</li> <li>・14年度 光ファイバー情報ネットワーク構築工事</li> <li>・14年度 第1駐車場(公民館脇)整備工事</li> <li>・15年度 開館</li> </ul>	<p>交流館事業及び中心市街地活性化促進のためのソフト事業の推進</p> <p>芸術文化振興基本法に基づく交流館事業の推進</p> <p>生涯学習事業の推進</p> <p>国際交流事業の推進</p> <p>社会体育事業の推進</p>

しっかりした土台 便利で健やかな生活提案プロジェクト									
プロジェクト番号	プロジェクト名	担当課等	計画地域	計画期間(年度)	総事業費(概算)(百万円)	全体概要	平成17年度末までの実績	今後の検討課題及び取り組むべき内容	
6	-	1	周辺の予見(国県等の事業)	総務課			あぶくま新高原都市構想の推進 郡山東口開発の協力 新幹線郡山駅折り返しの働きかけ 首都機能移転の推進	福島県阿武隈地域振興協議会への加入。阿武隈地域振興プラン21(計画期間H16~25)の推進協力。 郡山地方広域市町村圏組合において関係市町村との連携を強化 当町も加入する福島県鉄道活性化対策協議会の中で三春町として要望をあげ、平成14年度までJR等関係機関に働きかけを行ってきたが、15年度からは、三春町としては要望をあげていない。 福島県首都機能移転促進県民会議及び郡山地方広域市町村圏首都機能移転推進協議会に加入し、今後の動向を監視中	福島県阿武隈地域振興協議会への継続加入。阿武隈地域振興プラン21(計画期間H16~26)の推進協力。 福島県鉄道活性化対策協議会への継続加入、対応。磐越東線の活性化。 福島県首都機能移転促進県民会議及び郡山地方広域市町村圏首都機能移転推進協議会への継続加入、対応
6	-	2	道路網のネットワークづくり	産業建設課			国道288号線三春西バイパスの整備推進、主要地方道飯野三春石川線バイパスの整備推進、福島空港アクセス道路の整備推進	国道288号三春西バイパスについては、平成9年度より事業着手。全体延長3.5kmのうち、第1工区(一本松工区)1.6kmの用地買収を概ね完了し、平成13年度から一部工事に着手。	国道288号三春西バイパスの暫定二車線早期開通に向けた事業促進。 福島空港アクセス道路の建設要望
6	-	3	田村西部工業団地・企業誘致	産業建設課		H2~H6 造成	工業発展基盤の整備、安定した雇用の確保	・三春町分1社立地 ・関係機関と協力し、引き続き企業誘致促進を図っていく。	地域産業の振興と支援 安定した雇用の場の確保
6	-	4	上水道供給計画	企業局		H10~18	上水道拡張事業	配水管延長 L=26,617m、838,689千円	老朽管の更新
6	-	5	保健・医療の充実	保健福祉課	保健センター		保健センターの建設 地域医療体制の充実 医療サービスの充実 県立三春病院の機能充実	・H10年度に保健センター完成利用開始。開放日や夜間開放、健康づくり月間など展開し「ふれあい」「気軽性」をコンセプトにした運営を実施。 ・三春病院については、H19.4より町へ移譲。	県立三春病院廃止後の病院機能の存続と充実 地域医療体制の充実 医療サービスの充実 子育て支援体制の充実 乳幼児医療現物給付完全実施
6	-	6	生活環境施設の整備	住民税務課			廃棄物最終処分場の整備計画 広域利用のごみ焼却場「西部環境センター」建設	H9一般廃棄物最終処分場の建設(容積30,000立方メートル)  ごみ焼却施設 「田村西部環境センター」竣工。 処理能力 焼却炉 40トン/24時間 灰溶融炉 6.4トン/24時間 (スラグ化処理)	適正な維持管理の継続と廃棄物処理事業の信頼性向上
6	-	7	生活排水対策事業	企業局		H5~24	1,452 10,451 254 農業集落排水事業の推進 公共下水道事業の推進 合併処理浄化槽の普及促進	過足地区管路工 L=2,632m(553百万円) 中妻地区管路工 L=12,824m(1,837百万円) 管渠延長 L=21,777.1m(3,019百万円)  H11~H17 町設置型浄化槽事業 274基	・集合処理・個別処理の組み合わせにより、町内下水道処理100%を目指す。 ・公共下水道は市街地中心部で、時間をかけて整備する。 ・それ以外は、町設置型浄化槽事業で整備を進める。

プロジェクト番号			プロジェクト名	担当課等	計画地域	計画期間(年度)	総事業費(概算)(百万円)	全 体 概 要	平成17年度末までの実績	今後の検討課題及び取り組むべき内容
6	-	8	地域情報化のための基盤整備	総務課	及び について H12～H13 役場周辺 H14～H15 町内全域	及び について H12～H13	及び について H12～H13 47.4	情報通信インフラの整備と新たなネットワークの構築 地域情報通信体制の充実 地域情報の的確な把握と行政情報の提供の充実	及び について H12～H13 ・地域インターネット導入促進事業に取り組み役場周辺の公共施設間のネットワーク整備やインターネットによる情報発信の機器を導入、町民が利用できるパソコンを公共施設に設置 ・例規集を電子化しホームページに掲載したインターネットから図書館の蔵書検索などができるシステムを導入 H14～H15 ・田村広域行政組合が主体となった地域イントラネット基盤施設整備事業に取り組み、光ファイバー未接続の主な公共施設間のネットワーク整備を行った。 ・小中学校における情報機器の整備を重点課題と考え、情報端末等の整備を行った。 について ・H16に、住民情報、税務情報、財務会計システムなどの基幹システムの機器を更新し、事務処理の効率化、迅速化を図った。 ・また、住民情報、税情報システムについては、情報セキュリティの観点からクラウドサーバ方式としている。	町内全域において、地域格差がなくICTの恩恵が受けられるよう、情報基盤整備の推進についての調査研究を進める。
				住民税務課	H17～H18	47	行政処理システムの整備	・戸籍電算化事業 戸籍電算化事業着手 戸籍・附票情報のデータ化 (H18年12月稼動予定)	・住民サービスの向上(窓口時間の拡大、来庁者の待ち時間・移動距離の短縮) ・窓口業務の一層の効率化	
				総務課			情報公開の充実	について ・H8に、町ホームページ開設 ・H10に、文書管理にファイリングシステム導入、情報公開条例及び個人情報保護条例制定。(H17一部改正) ・H16に、三春町町民自治基本条例制定	町民自治基本条例に基づく情報共有の推進	